

中 光政教授退任記念号の発刊に寄せて

中光政先生は、2023年3月に定年を迎えられ本学を退職されました。中先生は、1991年4月に本学に助教授として着任されました。1997年に教授に昇格され、そして2001年には教務主任を経て、2006年から経営学部長を二期務められ、その間に学校法人東京経済大学理事、評議員、2012年には副学長、常務理事、評議員と多くの要職を歴任されました。本学では数多くの責任ある役職を担って頂き、本学及び経営学部の発展のために力を尽くされたことに対して、心から敬意と感謝の気持ちを込めて御礼申し上げたいと思います。

中先生は、1979年に早稲田大学商学部商学科を卒業されてから、1981年には同大学院商学研究科商学専攻博士前期課程を修了されました。1987年には同博士後期課程を単位取得満期退学され、2001年には博士（商学）早稲田大学の学位を取得されています。

中先生が早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程を満期退学したのちに論文博士の学位を取得された博士論文「物流会計情報システムの構築と展開」に象徴されているように、中先生は物流分野、会計分野、情報分野と学際的な問題意識に基づいて研究に取り組まれてきました。ビジネスの現場では、コスト管理が極めて重要な物流活動において会計領域からの視点は不可欠な要素であり、近年の複雑な物流は情報システムによる管理もまた不可欠な側面となっています。中先生のようにそれぞれの専門的な視座からの研究成果は多くのビジネス現場に一石を投じるものと言えます。

また、オフィス・オートメーション学会誌では、「企業における情報技術と経営学部に求められる情報リテラシー教育」（2003）や「高等学校における情報教育の状況」（2007）といった情報分野のリテラシー教育に関する研究発表もあり、教育に関わる研究にも取り組まれてきました。

このように広範囲にわたる学際的な研究成果を追究されていたこともあり、日本物流学会、日本情報経営学会、経営情報学会、日本管理会計学会、日本原価計算研究学会、日本商業学会、システム監査学会と非常に多くの学会に所属されています。なかでも日本物流学会では会長まで務められており、多くの研究者のなかでも人望もありリーダーシップを発揮されてきました。

これらの中先生の功績に感謝の意を込めまして、本学は2023年6月に東京経済大学名誉教授の称号をお贈りしております。

私の個人的な思い出としては、私が本学に赴任した時の学部長が中先生でした。赴任してから早々にいろいろな学内の仕事を依頼されて気が重かったこともあったのですが、いま思

中 光政教授退任記念号の発刊に寄せて

い返すと、あのときに中学部長に任された仕事の経験は、その後の私の本学でのありとあらゆる仕事の礎となっています。いま私が学部長として大学経営に関わる身になってみて、中先生には感謝してもしきれない気持ちです。

中先生の研究のように広範囲にわたる学際的な研究は、細分化が進んでいる現代の学術的な視点に大きな問題提起となるものですので、後進の研究者をまだまだ引っ張ってくださると確信しております。

最後になりますが、中先生の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

経営学部長 本藤貴康